

作成日 2023/01/17
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ラクラクVダニよけ霧46.5g × 1
製品コード	C01158
供給者の会社名称	レック株式会社
住所	東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー8F
担当部門	品質保証部
電話番号	03-3527-3084
推奨用途	全量噴射式エアゾールダニよけ剤(雑品)

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない(分類対象外)	
	可燃性ガス	区分に該当しない(分類対象外)	
	エアゾール	区分1	
	酸化性ガス	区分に該当しない(分類対象外)	
	高圧ガス	区分に該当しない(分類対象外)	
	引火性液体	区分に該当しない(分類対象外)	
	可燃性固体	区分に該当しない(分類対象外)	
	自己反応性化学品	区分に該当しない(分類対象外)	
	自然発火性液体	区分に該当しない(分類対象外)	
	自然発火性固体	区分に該当しない(分類対象外)	
	自己発熱性化学品	区分に該当しない(分類対象外)	
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない(分類対象外)	
	酸化性液体	区分に該当しない(分類対象外)	
	酸化性固体	区分に該当しない(分類対象外)	
	有機過氧化物	区分に該当しない(分類対象外)	
	金属腐食性化学品	区分に該当しない(分類対象外)	
	鈍性化爆発物	区分に該当しない(分類対象外)	
	健康有害性	急性毒性(経口)	分類できない
		急性毒性(経皮)	分類できない
		急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入:蒸気)		分類できない	
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性/刺激性		分類できない	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分2B	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性		分類できない	
発がん性		分類できない	
生殖毒性		分類できない	
生殖毒性・授乳影響	分類できない		
環境有害性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(麻酔作用 気道刺激性)	
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない	
	誤えん有害性	分類できない	
	水生環境有害性 短期	区分3	
水生環境有害性 長期	区分3		
オゾン層への有害性	分類できない		

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H222 極めて可燃性の高いエアゾール
H229 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ
H320 眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き
安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)

応急措置

裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。(P211)
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)
ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)

保管

換気の良い場所で保管すること。(P403)
日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。(P410+P412)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
フェントリン	非開示	C23H26O3	(3)-4219	4-(7)-998	26002-80-2
エタノール	10~30%	CH3CH2OH	(2)-202	既存	64-17-5
ジメチルエーテル	非開示	CH3OCH3	(2)-360	既存	115-10-6

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

情報なし
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所へ導いてからドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
必要に応じて、取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
使用後を含め、穴をあけたり燃したりしないこと。
ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

保管

接触回避
安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
日光から遮断すること。
換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
フェノリン	未設定	未設定	未設定
エタノール	未設定	未設定	TWA -, STEL 1000 ppm
ジメチルエーテル	未設定	未設定	未設定

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
必要に応じて、取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具
手の保護具
眼、顔面の保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。
必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護 必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。
具

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	エアゾール
形状	液体(原液)
色	微黄色透明液(原液)
臭い	特有のニオイがある(原液)
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点 範囲	データなし
可燃性	可燃性物質
爆発下限界及び爆発上限 下 限	データなし
界/可燃限界	
	上限
引火点	データなし
自然発火点	15°C (タグ密閉式)
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配 係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
化学的安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	通常の保管・取扱い・使用条件においては既知の危険反応はない。
避けるべき条件	熱や発火源を避ける。□
混触危険物質	情報なし□
危険有害な分解生成物	情報なし□

11. 有害性情報

急性毒性	経口	【製品】データなし 【成分】フェントリン: LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg LD50 (マウス): > 5,000 mg/kg
	経皮	【製品】データなし 【成分】フェントリン: LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg LD50(マウス): > 2,000 mg/kg
	吸入	【製品】データなし 【成分】フェントリン: 紛じん/ミスト: ラット: LC50 (4h): > 2,000 mg/m ³
皮膚腐食性/皮膚刺激性		データなし
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性		データなし(組成及び成分情報から区分2Bとした)
呼吸器感作性		データなし
皮膚感作性		データなし
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回 ばく露)		データなし(組成及び成分情報から区分3(麻酔作用、気道刺激性)とした)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データなし
誤えん有害性		データなし
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期(急性)		データなし(組成及び成分情報から区分3とした)
水生環境有害性 長期(慢性)		データなし(組成及び成分情報から区分3とした)
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データなし
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		火気のない戸外でボタンを押してガスが抜けていることを確認して捨てること。大量に廃棄する場合には、可燃性ガスと可燃性液体を含むことから、許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに委託して処理する。 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 高圧ガスを廃棄する場合は、高圧ガス保安法一般高圧ガス保安規則の規定に従うこと。 内容物を排出した後、地方自治体の基準に従うか、残余廃棄物と同様に産業廃棄物として処分する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 焼却に際しては引火性物質を含むので注意して行う。
汚染容器及び包装		
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	UN No.	1950
	Proper Shipping Class	エアゾール 2.1
	Packing Group	-
	Marine Pollutant	Not applicable
	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	Not applicable
	航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
	UN No.	1950
	Proper Shipping Class	エアゾール 2.1
	Packing Group	-
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。 高圧ガス保安法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	1950
	品名	エアゾール
	クラス	2.1
	容器等級	-

海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	1950
品名	エアゾール
クラス	2.1
等級	-
緊急時応急措置指針番号	126

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)

危険物・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

エタノール(政令番号:61)(10%-30%)

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当

消防法

第4類 引火性液体 第一石油類(非水溶性)

高圧ガス保安法

液化ガス(法第2条3)

可燃性ガス(一般高圧ガス保安規則第2条1)

16. その他の情報

参考文献

事業者向けGHS分類ガイダンス Ver2.0、経済産業省、令和2年3月

JIS Z 7253:2019

その他

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物品についてのみのものであり、指定されていない使用方法や材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。